

# 青年部 新メンバーの紹介

**岐阜第3支部**  
吉田 美穂  
(岩砂病院・岩砂マタニティ)

メンバーの交代で青年部に参加する事になりました。分からない事ばかりですが頑張ります。よろしくお願ひします。

**岐阜第7支部**  
加納 茂樹  
(岐阜県総合医療センター)

「今年度より青年部のメンバーとして活動させていただくことになりました。まだまだ分からないことばかりですが頑張ります。」

**岐阜第6支部**  
谷口 まどか  
(医療法人和光会山田病院)

慣れないことで緊張していますが、少しでも力になれるよう頑張っています。

**岐阜第4支部**  
上面 京志  
(岐阜中央病院)

今年度から青年部に参加させて頂くことになりました。精一杯やらさせていただきますのでよろしくお願い致します。

**関支部**  
武藤 浩志  
(関中央病院)

今年から青年部に加入した武藤です。みんなで協力して青年部を盛り上げていきたいです。



**中濃支部**  
福田 勝彦  
(中濃厚生病院)

分からないことばかりですが、できる限り協力していきたいと思ひますのでよろしくお願い致します。

**多治見支部**  
中村 京  
(東濃厚生病院)

看護連盟への加入も間もないため、分からない事ばかりですが、勉強させて頂きながら務めさせていただきます。よろしくお願い致します。

**中濃支部**  
小原 宇巨  
(中濃厚生病院)

新任した初年度に、全国ポリナビワークショップが岐阜で開催されるといことで、皆様と盛り上げていきたいのでよろしくお願い致します。

**郡上支部**  
猪俣 えり子  
(鷺見病院)

若くないですが青年部委員会に新任しました。よろしくお願い致します。

**岐阜第1支部**  
東野 友記  
(河村病院)

今までは、政治と看護のつながりを良く知りませんでした。まだまだわからないことばかりですが、より良い環境となるよう、これから勉強していきたいと思ひます。よろしくお願い致します。

## 平成26年度 岐阜県看護連盟 青年部委員

- |  |   |   |  |   |
|--|---|---|--|---|
| 可茂支部 委員長<br>小倉 幸雄<br>(揖斐厚生病院)  | 伊佐治 哲也<br>(木沢記念病院)  | 羽島支部 委員<br>大垣支部 委員<br>中濃支部 委員<br>関支部 委員<br>郡上支部 委員<br>多治見支部 委員<br>飛騨支部 委員<br>下呂支部 委員<br>青年部顧問 | 岩口 友和<br>岩田 智博<br>小原 宇巨<br>福田 勝彦<br>武藤 浩志<br>猪俣 えり子<br>中村 京<br>松尾 ともみ<br>加藤 学<br>古田 裕和<br>小原 万千子 | (医療法人松波総合病院)<br>(西美濃厚生病院)<br>(中濃厚生病院)<br>(中濃厚生病院)<br>(関中央病院)<br>(鷺見病院)<br>(東濃厚生病院)<br>(久美愛厚生病院)<br>(県立下呂温泉病院)<br>(県立下呂温泉病院) |
| 岐阜第5支部 副委員長<br>飛騨支部 副委員長<br>岐阜第1支部 委員<br>岐阜第3支部 委員<br>岐阜第4支部 委員<br>岐阜第5支部 委員<br>岐阜第6支部 委員<br>岐阜第7支部 委員<br>伊奈波支部 委員 | 森下 真哉<br>(高山赤十字病院)<br>(河村病院)<br>(岩砂病院・岩砂マタニティ)<br>(岐阜中央病院)<br>(揖斐厚生病院)<br>(医療法人和光会 山田病院)<br>(県総合医療センター)<br>(岐阜厚生病院) |   |  |   |

# ～これからも現場の声を政治家にとどけます～

- 政治家との交流を深める(国会議員・県会議員)活動を推進します。  
①意見交換会を積極的に実施し、看護・介護に関する理解者を多く持つようにする。  
②県議会や厚生環境委員会等を傍聴し、政治のしくみ、議員の活動について学習する。  
③夜勤看護現場及び色々な看護の場面の視察を継続して実施いただく。
- 現場では子育てで色々な問題をかかえています。子育て支援についても継続して取り組みます。  
  
(若手会員より意見：ポリナビワークショップ時のアンケートより抜粋)  
・子育てで退職する人があり、若い年代のスタッフが多く反省・責任も重い  
・子供が病気をしても休みがとれない  
・学童保育の充実…地域差があるのでは
- ポリナビワークショップを年一回開催します。  
  
1人ひとりの意見を尊重し看護に関する問題をさまざまな視点から検討可能にすることで、問題解決に向けて取り組んでいきます。
- 広報活動として「ポリナビ通信」を定期的(1回/年)発行し青年部の活動を報告します。

これからも看護職一人ひとりの力が必要。  
そして各個人の意見が反映されるために、青年部は活動して行きます。

## その他

■ホームページと連絡先の紹介  
岐阜県看護連盟ホームページ→<http://www.gkr.jp/>  
岐阜県看護連盟本部のメールアドレス→E-mail:kangorenmeigifuken@cronos.ocn.ne.jp  
こちらからもアクセス出来ます→



## 編集後記

平成25年度 岐阜県看護連盟青年部の活動を会員の皆様に報告できます事を委員一同大変嬉しく思います。この一年間、私たちの活動にご理解とご協力をいただきました各議員の先生方、各施設の方に心より御礼申し上げます。これからも、1人ひとりに宿った情熱が大きな力を生み出す事を信じ、楽しく学び活動していきたいと思ひます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、またご協力頂きますようお願い致します。

青年部編集担当委員 岩田 智博  
青年部顧問 小原 万千子

# ポリナビ

# 青年部通信

第4号

2014年11月11日  
発行所/岐阜県看護連盟  
編集者/伊佐治 哲也  
〒500-8367 岐阜市宇佐南4丁目7番  
1階東アミューズBR  
TEL 058-268-7340 FAX 058-268-7345  
E-mail: kangorenmeigifuken@cronos.ocn.ne.jp  
URL <http://www.gkr.jp/>

## 第8回 全国ポリナビワークショップ in 岐阜

テーマ つなげる・ひろがる・看護の未来



## 看護の夢を現実に

皆様こんにちは。青年部委員長の伊佐治です。日頃は青年部の活動にご理解、ご協力いただき深く感謝しております。我々岐阜県看護連盟青年部は、自由民主党岐阜県連の長屋光征青年局長との強固な関係によって、県議会、厚生環境委員会の傍聴等貴重な体験をすることができました。また、県議会議員の高殿尚先生との夜勤現場視察、現場看護師との意見交換等も継続することができました。このように、議員とのつながりが広がり、強くなっております。この関係を大いに活かして皆様から頂いたご意見を届けていき、元氣な岐阜県となるよう活動をしていくつもりです。今年の10月11日(土)には第8回全国ポリナビワークショップが岐阜県で開催されます。多くの方が参加され、研修を楽しんでいただけるように頑張っていきます。今後とも岐阜県看護連盟青年部をどうぞよろしくお願い致します。



岐阜県看護連盟  
青年部委員長 伊佐治 哲也



## 第4回 ポリナビ通信発刊にあたって



岐阜県看護連盟  
会長 山口 絢子

厳しい気象の変化により、全国のあちこちで大雨・洪水・土砂崩れが起こり、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、岐阜県では青年部員の活動もどんどん活発となり、来る10月11日(土)には、第8回全国ポリナビワークショップを開催する運びとなりました。計画が進むにつれて、若者の発想の豊かさ・団結力の強さ・何事にも一生懸命な姿に感銘致しております。

この若き力に看護の未来を委ねるには、若者の皆さん一人ひとりが「政治に関心を持つ事」だと思います。全会員が一致団結し、看護の未来に期待したいと思います。

皆様どうぞよろしくお願い致します。

岐阜県議会議員の長屋こうせいです。今年も「ポリナビ通信」で看護連盟の皆様にご挨拶できることは、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は青年部の皆様と、高山日赤病院の夜間看護視察にうかがわせていただきましたが、中山間地域の重要な拠点病院であることが分かったのと同時に地域特有の様々な問題点を知ることができました。

我々政治家は自分の選ばれている地域のことだけを見ることが多いため、その他の地域の問題点を見落としがちになってしまいますが、看護連盟青年部の皆さんと絆を深めることによって、地域に関わらず同世代の皆さんの職場での悩みや、問題点を知ることができます。我々は皆さんとその課題を1つ1つ解決していき将来看護師を目指す人達に少しでも良い環境で仕事ができるようにこれからも皆さんと一緒に頑張っていきますので、今後とも現場の声を聞かせていただきますようお願い申し上げます。



岐阜県議会議員  
長屋 光征

平成26年度  
2月26日

## 県議会議員高殿尚先生、長屋光征先生 夜間看護現場視察・意見交換会開催



高山赤十字病院にて



岐阜県議会議員 高殿 尚

夜間看護の現地現場の最前線で働く看護師の皆様の献身的な仕事ぶりとともに、限られた人員での多岐に渡る仕事内容や激務を目の当たりにしました。

ひとりひとりが異なる患者さんの病状や症状、そして小事大事のリクエスト、ナース服を着て現場を預かる看護師さんらに、ベテランや新人もない。

看護師の皆様は、まさに生命を預かる「責任感」と「使命感」で働く「プロ」一番に感じたことは都会・地方と異なる院内の環境でも、まずは「人材確保」。「人材」とは「人員」と共に「人材の質」。「質」とは「人材確保」や「人材養成」。医療従事者の賃金保障、キャリアアップなど、あらゆる職場環境の整備は、まさに「待ったなし」と痛感。「将来に向けてのあるべき姿」は、日々、患者さんと接し、現場で働く方々の「生の声」こそ、本当の意味での「医療現場の声」。この貴重なお声を、ひとつでも多く、そして少しでも早く伝えていくことが、私たちの仕事であり責務であることを、再認識させていただきました。

2月26日、県議会議員高殿尚・長屋光征先生に来ていただきました。意見交換会では参加者から、看護師の業務負担が増し、特に夜間は不穏・認知症の患者さんの対応で十分な休憩・仮眠が取れないことや、育児や介護で夜勤制限・免除を希望する看護師数が増加し、夜勤を担う看護師達の負担が増加している事が伝えられました。そして少子高齢化が進む当地域で看護師確保と夜勤看護師数の減少を止めるには、①行政による育児支援強化 ②7対1入院基本科以外に「ドクターフィー」に類似した「看護職フィー」の導入 ③厳しい勤務状況に相応した看護職手当の見直し ④夜勤を担う看護師に何らか差別化(コスト見直し)が必要な事や、地域で育った若者が看護師として確実に地域に帰る取り組みとして(1)小・中・高等学校で看護職を積極的に紹介する取り組み (2)医師の地域枠のような看護職地域枠の導入 (3)地域への企業誘致等で企業口を拡大し若者が帰ってくる環境づくり等が必要という意見がありました。この企画を通じて、議員さん方には看護師の厳しい労働環境と地域の現状を知っていただいた事、また若いスタッフ達が、看護現場や地域全体の看護に関する問題を情報共有でき、看護の現場を良くするために政治との関わり的重要性を認識できた事が、とても良かったと思います。この会を企画・運営して下さいました連盟の皆様方に、深く感謝申し上げます。



高山赤十字病院  
牛丸 久里

この度の夜間視察にあたり、ご協力いただいたスタッフの皆様ありがとうございました。今回の夜間視察では、夜間の病棟視察だけでなく、当院の看護師スタッフとの意見交換会では、時間が足りないほどの活発な意見交換会になりました。意見交換では、高山での看護師の人員不足の問題、他職種との給料の格差などの、労働環境の問題を改めて実感しました。また、地域の問題として、患者自身の通院や退院の問題があり、退院調整が必要な患者が多く存在することを、夜間視察に参加した政治家の方々に知ってもらった事が出来ました。今回の政治家との夜間視察の取り組みは、今回で4回目の試みになります。看護師の現場を知ってもらいたい機会になっているので、これからも、この活動を続けていきたいと思っています。



高山赤十字病院  
森下 真哉